EB-S6
セットアップガイド

- 目次 -

同梱品の確認…………………………………2
設置しよう……………………………………3
コンピュータと接続して投写しよう………4
他の映像機器との接続………………………9
USB ケーブルで接続して投写しよう … 10
説明書の構成……………………………… 12
インジケータの見方……………………… 13
便利な機能………………………………… 14

同梱品の確認

下記のチェックリストをご覧になり、同梱品を確認してください。
万一、不足や不良がありましたら、お手数ですがお買い求めいただいた販売店までご連絡ください。

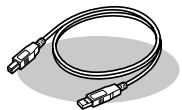
□プロジェクター本体

□リモコン

□ソフトキャリング
ケース

□電源ケーブル
（日本国内専用約 1.8m）

□コンピュータケーブル
（約 1.8m）

□ USB ケーブル
（約 1.8m）

□パスワードプロテクト
シール

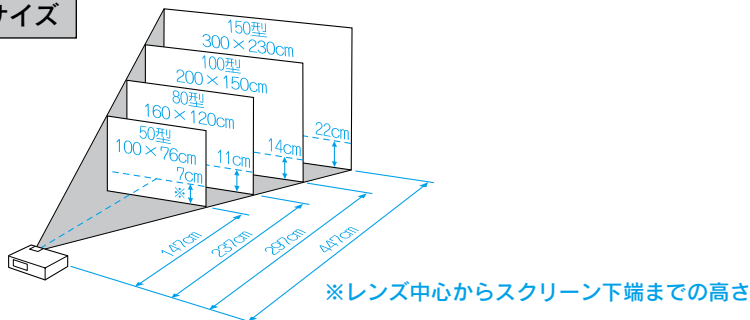
ドキュメント類

□安全にお使いいただくために / サポートとサービスのご案内　□セットアップガイド (本書)

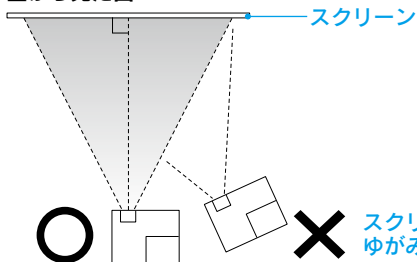
□ Document CD-ROM　□保証書

1 設置しよう

スクリーンに映像が最適な大きさで映るように設置してください。

本機のレンズからスクリーンまでの距離により映像のサイズが変わります。図中の値は目安です。投写距離の詳細値 ☛『取扱説明書』「スクリーンサイズと投写距離」

本機の吸気口･排気口をふさがないでください。吸気口･排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

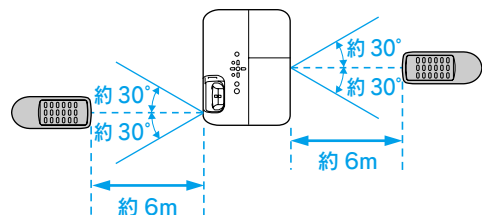
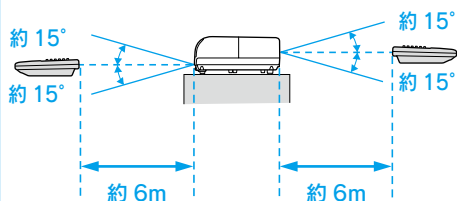
台形補正後は画面サイズが小さくなります。

② 本機をスクリーンに対して平行に設置してください。

注意 **本機を縦置きや下向きの状態で投写しないでください。故障の原因となります。**

スクリーンに対して本機を斜めに設置すると映像が台形にゆがみます。

●リモコンの準備●

リモコンをお使いになる前に同梱の電池をセットしてください。

☛『取扱説明書』「リモコンの電池の交換方法」

2 コンピュータと接続して投写しよう

① レンズカバーを開きます。

投写中はレンズをのぞかないでください。

② 電源ケーブルを接続します。

電源ケーブル（同梱品）

③ コンピュータケーブルを接続します。音声を出力するときはオーディオケーブルも接続します。

オーディオケーブル（市販品）

コンピュータケーブル（同梱品）

④ 接続機器の電源を入れます。

ON

⑤ 本機の電源を入れます。

ピッ

操作パネルの場合

リモコンの場合

⑥ ノートタイプのコンピュータをお使いのときは、映像信号の出力先を切り替えます。
例：エプソンの場合は Fn + F8

- 「ダイレクトパワーオン」を「オン」にすると電源ケーブルを接続するだけで電源が入ります。
- 標高約 1500m 以上の地域でお使いになるときは、「高地モード」を「オン」にしてください。

☛『取扱説明書』「拡張設定メニュー」

●映像が投写されないとき●

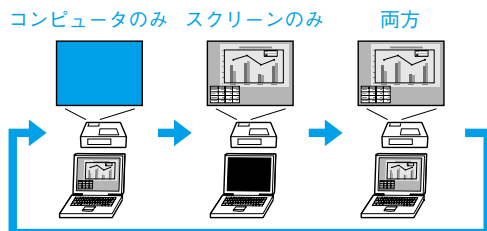
■スクリーン左下に「コンピュータ」と表示されている場合

コンピュータ側の操作

コンピュータ側で映像信号の出力先を切り替えます。
☛コンピュータの『取扱説明書』
切り替え後、しばらくすると投写されます。

出力切り替えの一例			
エプソン	Fn + F8	東芝	Fn + F5
NEC	Fn + F3	lenovo/IBM	Fn + F7
松下	Fn + F3	SONY	Fn + F7
SOTEC	Fn + F3	DELL	Fn + F8
HP	Fn + F4	富士通	Fn + F10
Macintosh	ミラーリングの設定、またはディスプレイの検出を行う。OS によっては、F7 で切り替えることができます。		

コンピュータによっては、次のように出力切り替えのキー操作を行うたびに表示状態が変わるものもあります。

コンピュータのみ　スクリーンのみ　両方

※ ビデオ機器の場合は、再生状態にしてから 入力検出 ◯ を押します。

■スクリーン左下に「ビデオ」と表示されている場合

リモコン / プロジェクター側の操作

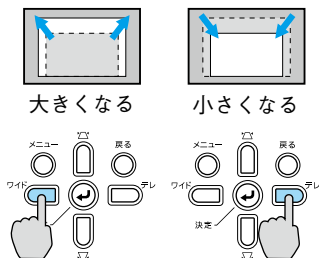
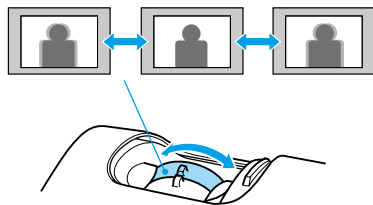
入力ソースをコンピュータに切り替えます。

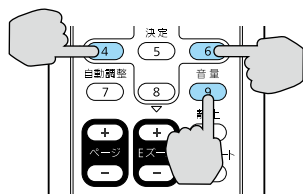
リモコンの場合

操作パネルの場合

それでも投写されないときは

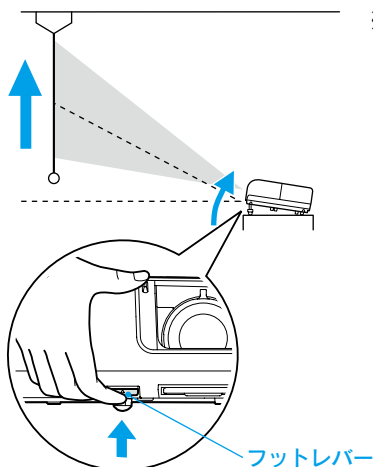
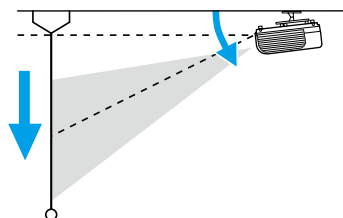
●投写状態や音量を調整するには●
（はじめて設置するときや持ち運んでお使いになる方へ）

■ズーム調整

■ピント（フォーカス）調整

■音量調整

リモコンの、[音量 9] を押すと音量調整画面が表示されるので、[4] と [6] で大きさを調整します。
音量は環境設定メニューでも調整できます。

☛『取扱説明書』「設定メニュー」

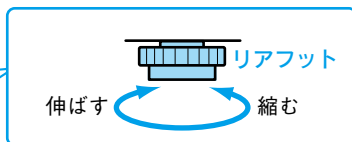
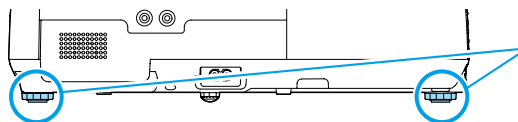
■画像の位置調整

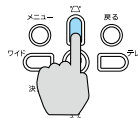
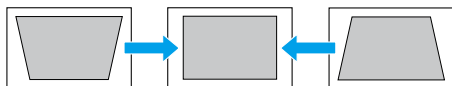
フットレバーを引いてフロントフットで調整します。

※ 本機は最大 11°まで傾けて使用できます。ただし、傾斜角度が大きくなると、ピントが合いにくくなります。傾斜角度が小さくなるように設置してください。

持ち運ぶときにはフロントフットを必ず収納してください。

■映像のゆがみの解消

本機を傾けると映像が水平方向に傾斜したり台形状にゆがみます。

水平傾斜の調整

机上設置のときは、リアフットで本機の水平方向の傾きを調整します。

持ち運ぶときにはリアフットを必ず収納してください。

タテ方向の補正

※本機の上下方向の傾斜角度が約 30°までであれば補正できます。

- 台形補正は環境設定メニューでも調整できます。
  ☛『取扱説明書』「設定メニュー」
- を押したまま を1秒以上押すと、補正値が初期値に戻ります。

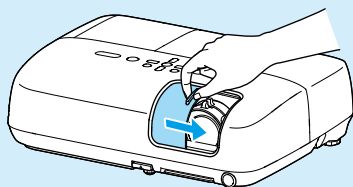
●電源を切り終了する●

① 接続している機器の電源を切ります。

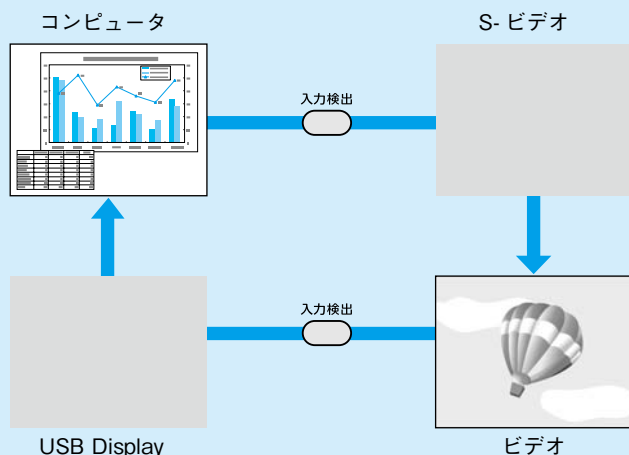
② リモコンまたは操作パネルの ⏻ を２回押します。

③「ピッピッ」と鳴ったら、電源ケーブルを抜きます。

ダイレクトシャットダウンに対応していますので、会議室など電源を集中管理している場所では、⏻ を押さずに電源ケーブルを抜いたり、ブレーカーを落として電源を切ってもかまいません。

●レンズカバーの便利な機能●

- 投写中にレンズカバーを閉めると、映像と音声を消すことができます（A/V ミュート）。
- 「レンズカバータイマ」を「オン」にしておくと、レンズカバーを閉じてから約 30 分後に自動で電源を切ります。
☛『取扱説明書』「拡張設定メニュー」

●別の機器の映像に切り替えるには●

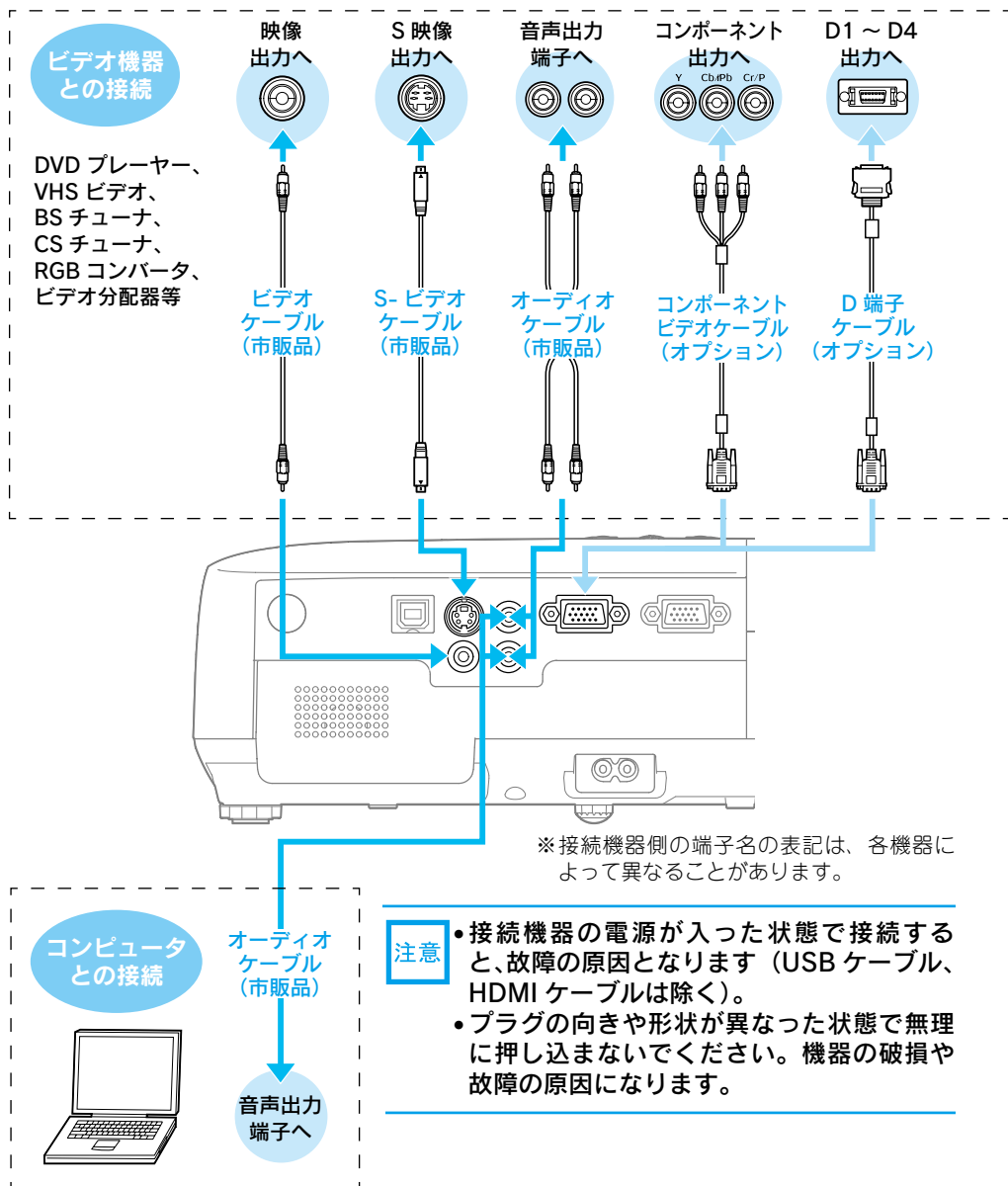
本体の操作パネルまたはリモコンの 入力検出 で切り替えます。

映像信号が入力されていない入力端子は飛び越します。

他の映像機器との接続

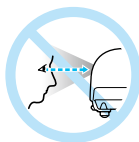
※接続機器側の端子名の表記は、各機器によって異なることがあります。

注意

- 接続機器の電源が入った状態で接続すると、故障の原因となります（USB ケーブル、HDMI ケーブルは除く）。
- プラグの向きや形状が異なった状態で無理に押し込まないでください。機器の破損や故障の原因になります。

ポイント

- 接続する機器が特有の端子形状をしているときは、その機器に同梱またはオプションのケーブルで接続します。
- 市販の 2RCA(L・R)/ ステレオミニピンオーディオケーブルを使うときは「抵抗なし」と表記されているものをお使いください。

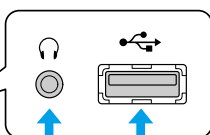
USB ケーブルで接続して投写しよう

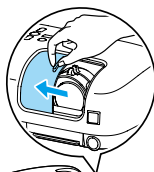
本機は、同梱の USB ケーブルで Windows 搭載のコンピュータと接続してコンピュータの映像を投写できます。この機能を USB ディスプレイと呼びます。

投写中はレンズをのぞかないでください。

⑤ **USB ケーブルを接続します。**

本機から音声を出力するときはオーディオケーブル（市販品）も接続します。

① **コンピュータの電源を入れます。**

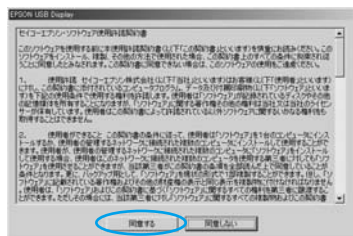
ON

④ **レンズカバーを開きます。**

② **電源ケーブル（同梱品）を接続します。**

③ **本機の電源を入れます。**

注意 USB ハブを経由した接続ではなく、直接本機とコンピュータを接続してください。

DirectX の一部の機能を使っているアプリケーションは、正しく表示できない場合があります。（Windows のみ）

■初めて接続したとき

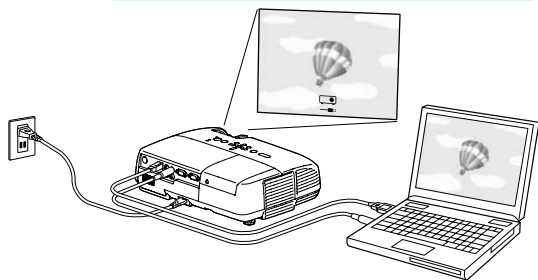
自動的にドライバのインストールが開始します。

コンピュータ画面

必ず「同意する」を選択します。

※ お使いのコンピュータがWindows 2000のときは、自動的にインストールしません。「マイコンピュータ」で「EPSON_PJ_UD(X:)」をダブルクリックしてください。

※ インストールを行わないとUSBディスプレイを実行できません。万一、インストールを中止するときに限り「同意しない」を選択してください。

■ 2 回目以降

コンピュータの映像が投写されます。

※ 投写されるまでに、しばらく時間がかかることがあります。そのままの状態で映像が投写されるまでお待ちください。

※ 投写を終了するには、USBケーブルを抜きます。ケーブルを抜く際に、コンピュータで「外部デバイスの取り外し」を行う必要はありません。

万一、投写されないときには
「すべてのプログラム」-「EPSON Projector」-「EPSON USB Display」-「EPSON USB Display V1.4」をクリックします。

自動的にインストールされないときには
「マイコンピュータ」-「EPSON_PJ_UD」-「EMP_UDSE.EXE」をダブルクリックします。

Windows 2000でエラーメッセージが表示されるとき
Windows 2000搭載のコンピュータをユーザー権限でお使いのときは、インストール時にWindowsのエラーメッセージが表示されインストールできないことがあります。この場合は、Windowsをアップデートして最新の状態にしてから再度、接続し直してください。詳細は、本書に記載の連絡先にご確認ください。

ドライバをアンインストールするには
「コントロールパネル」内の以下の場所からUSB Displayのアンインストールを行ってください。
「プログラムのアンインストール」(Windows Vista)/「プログラムの追加と削除」(Windows XP)/「アプリケーションの追加と削除」(Windows 2000)

説明書の構成

本機には次の説明書が添付されています。以下の順番でお読みください。

本機を安全に正しくお使いいただくために、添付のマニュアルをよくお読みください。不明な点をいつでも解決できるように、その後はすぐに見られる場所に大切に保存してください。

『安全にお使いいただくために / サポートとサービスのご案内』

本機を安全にお使いいただくための注意事項やサポートとサービスのご案内が記載されています。本機をお使いいただく前に必ずご覧ください。

『セットアップガイド』（本書）

本機を使い始めるまでの準備（同梱品の確認・設置・コンピュータやビデオ機器との接続）と投写開始時の基本操作について記載しています。

『取扱説明書』（PDF）

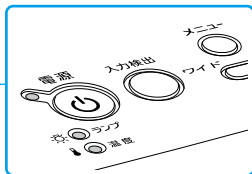
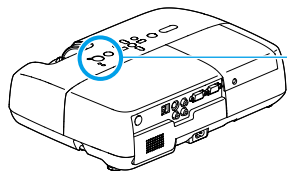
便利な機能、環境設定メニューの使い方、困ったときの対処方法、お手入れの方法などについて記載しています。

※Document CD-ROM には、PDF 版の『セットアップガイド』も収録されています。

● Document CD-ROM 内の説明書の見方●

コンピュータの電源を入れ、CD-ROM ドライブに Document CD-ROM をセットします。

Document CD-ROM に収録されている PDF マニュアルのバージョンは PDF1.4 です。この PDF マニュアルをご覧いただくには、Acrobat Reader5.0 以上または Adobe Reader が必要です。

インジケータの見方

詳細は ☛『取扱説明書』「困ったときに」

● ：点灯
☼ ：点滅
○ ：消灯
◌ ：本機の状態により異なる場合

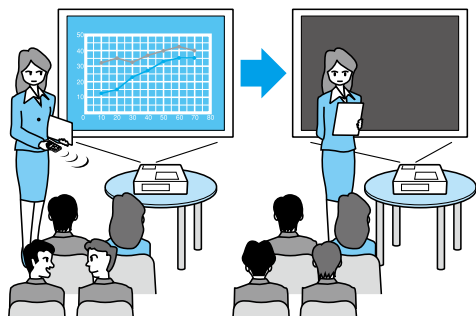
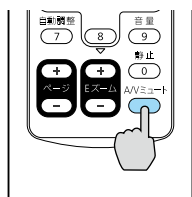
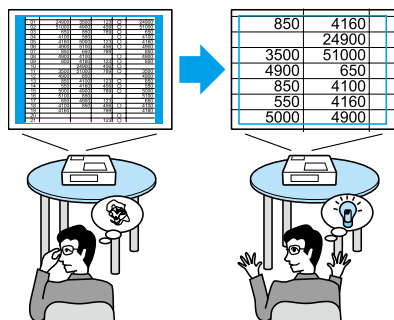
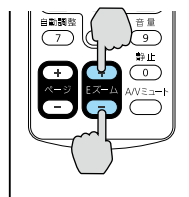
■正常動作時のインジケータの状態

インジケータ	状態
● オレンジ ⏻	**スタンバイ** ⏻ を押すと投写を開始します。
☼ 緑 ⏻	**ウォームアップ中** ウォームアップ中は ⏻ を押しても電源を切ることはできません（約 30 秒）。
● 緑 ⏻	**投写中**

■異常 / 警告時のインジケータの状態

インジケータ	状態	対処
⏻ ● 赤 ランプ ☼ 赤 温度 ☼ 赤	**内部異常**	電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。
⏻ ● 赤 ランプ ○ 温度 ☼ 赤	**ファン異常** **センサ異常**	
⏻ ☼ 赤 ランプ ☼ 赤 温度 ☼ 赤	**オートアイリス異常**	
⏻ ● 赤 ランプ ○ 温度 ● 赤	**内部高温異常** 約 5 分間そのままの状態で待ち、電源プラグをコンセントから抜きます。	**次の 2 点を確認してください。** • 壁際に設置しているときは場所を移動します。 • エアーフィルタの掃除または交換をします。
⏻ ☼ 赤 ランプ ○ 温度 ☼ オレンジ	**高温警告**	
⏻ ● 赤 ランプ ☼ 赤 温度 ○	**ランプ異常 / ランプ点灯失敗 / ランプカバー開放状態**	**次の 3 点を確認してください。** • ランプを取り出しランプ割れを確認し、割れていなければ再セットして電源を入れます。割れているときは、お買い上げの販売店または下記の連絡先にご相談ください。 • ランプカバーやランプが確実に取り付けられているか確認してください。 • エアーフィルタを掃除します。
⏻ ○ ランプ ☼ 赤 温度 ○	**ランプ交換勧告**	すみやかに、新しいランプと交換してください。このまま使い続けると、ランプが破裂するおそれがあります。

※上記の対処を行ってもエラーになるときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜きお買い上げの販売店または別冊の『安全にお使いいただくために / サポートとサービスのご案内』に記載の連絡先に修理を依頼してください。

便利な機能

便利な機能を搭載しています。詳細は ☛『取扱説明書』「便利な機能」